

令和8年版

創業支援事例集

in Akita



日本政策金融公庫

秋田支店 大館支店

Contents

●創業事例

CASE_01	T A Y O R e : (タヨリ) 秋田市	01
CASE_02	秋田ソフィ動物病院 秋田市	02
CASE_03	スナオブルワリー（株式会社うるかしこ） 横手市	03
CASE_04	S p e l l w e d d i n g 由利本荘市	04
CASE_05	とくし丸 マルダイ4号車 秋田市	05
CASE_06	うつつ菓子店 秋田市	06
CASE_07	E n j o y とわだこ（エンジョイトワダコ） 鹿角郡小坂町	07

●日本公庫の創業支援

日本公庫ダイレクトアプリ	08
融資のご相談・お申込手続き	09

●創業事例

CASE_01

「秋田～(から)」ワクワクする未来をつくる

若者が力を合わせて秋田の魅力を発信

秋田から面白いことを発信したいと考え、令和5年3月に地域コミュニティとして「AKITA“KARA”」を発足しました。「秋田から起業家を増やす」ことを目的に始まり、「働き方の選択肢として」、「小さな「想い」から始める」など、創業のハードルを下げることで多くの方々から興味を持っていただきました。

「秋田「から」何かが生まれていく。秋田「から」なにかにつながっていく。ここ「から」どんどん面白いプロジェクトが育まれていくコミュニティ。課題ばかりネガティブに捉えるのではなく、課題も魅力もすべて「秋田」。秋田「から」ワクワクする未来をつくっていこう。」をテーマに同志が集まりました。



TAYOR e: (タヨリ)

秋田市

屋号: TAYOR e: (タヨリ)
氏名: 鷲谷 建 (ワシヤ タツル)
所在地: 秋田市
創業年月: 令和7年1月
業種: その他の情報処理サービス業、飲食業、イベント業
instagram: akita_kara



創業時に苦労したこと、工夫したこと

開業前に定期的なイベント開催し周知活動を行う

開業前からSNSを活用してイベントを開催し、活動の周知を行いました。また、秋田で活躍する人や特産物、名店等をまとめた冊子「みんなでつくるあきた図鑑」を刊行しました。多くの方々に読んでもらえるように飲食店等に置いていただいたところ反響があり、認知度を高めることができました。支援者を得ることができたため、秋田市の空き店舗をリノベーションして会員制のコワーキングスペースを開設して活動拠点としました。オープニングイベントは100名以上も集まり、秋田での暮らしや未来について語り合いました。

技術・ビジネスモデル・セールスポイント

若者の起業・創業を創出する拠点「アキタカラ」

活動拠点は会員制のコワーキングスペースとするほか、昼はカフェ、夜はバーとして営業し、20代~30代の若者を中心に、秋田での創業等を考える場として定着しつつあります。また、会員は活動の運営に携わるとともに、スペースを利用した試験的な開業を体験していただいています。

今後について

秋田での日々をさらに楽しいものに 第二拠点開設へ

地元メディアで取り上げられることも増えて、会員数は増加しています。最近は活動に共感するする方々からの要望もあり、第二拠点開設を計画しています（第二拠点は令和7年9月に開設）。今後も「AKITA“KARA”」を通して、秋田での日々がさらに楽しくなってもらえるように、活動を続けていきます。

●創業に際し活用した秋田県の制度等

中心市街地等空き店舗対策事業（秋田市）

<https://www.city.akita.lg.jp/jigyosha/shigaichi-kasseika/1041994.html>



●創業事例

CASE_02

様々な動物の症例に向き合う 知見を活かした獣医師の開業

第一線の現場で幅広い動物の健康を支えたい

動物病院に勤務し臨床経験を積んだのち、県職員として動物愛護センター等で働いていました。様々な事情で収容される犬猫たちの治療に向き合いながら、小動物臨床を通して動物たちの健康にも貢献したいと強く想うようになりました。秋田県内では犬猫以外の小動物、エキゾチック動物の診療を積極的に受け入れている動物病院が少ないのが現状です。様々な動物たちを手助けできる診療を提供したい、「動き出すならば今だ!」という思いで開業を決意しました。



秋田ソフィ動物病院

秋田市

屋号：秋田ソフィ動物病院
氏名：佐藤 恵里（サトウ エリ）
所在地：秋田市
創業年月：令和6年12月
業種：動物病院
URL：<https://www.akita-vet.com/>



創業時に苦労したこと、工夫したこと

仕事と開業準備 タイムマネジメントとの闘い

まずは秋田県の創業補助金への応募準備に取り掛かりましたが、勤務しながらの開業準備だったので、創業計画を立てる時間を作るタイムマネジメントに苦労しました。それでも自分が目指す動物病院のコンセプトや収支目標を考え、自分の言葉で開業への想いをプレゼンする事ができました。無事に補助金の採択をいただいたうえ、その後の公庫さんや地元金融機関様への資金相談もスムーズに進める事ができました。

技術・ビジネスモデル・セールスポイント

責任感とやりがいをもとに日々鍛錬

当院は犬猫以外にも小動物、エキゾチック動物の受入れを行っているため、遠方の方の来院もあり、当初予定よりも早く黒字化を達成できました。日々の診療を通して、幅広い種の動物診療の場の必要性を強く実感しています。エキゾチック動物は、ハムスター、ウサギ、鳥類、爬虫類、両生類など多種多様で、飼育する方も年々増加しています。小動物、エキゾチック動物の診療は、まだまだ分からぬ事も多く、日々自分のスキルを上げ、診療できる範囲を広げる為に精進しています。動物たちの小さな命を預かっている責任というプレッシャーは常にありますが、同時に当院を必要とする動物たちへの貢献という大きなやりがいを感じています。動物と飼い主さんたちの安心した表情を見て、「開業してよかった!」と思います。

今後について

専門スキルを磨き、地域の方々に寄り添う動物病院に

ごく微量の血液を採取できる機器や、爬虫類専用の機器など、より繊細にエキゾチック動物の体を診療するための専用の医療機器があります。地域の需要に応えるべく、将来的にはそれらの設備を積極的に導入し、優秀な人材を雇用したいです。そのためにも専門スキルを磨きながら事業を軌道に乗せる事が重要だと考えています。様々な動物や症例を受け入れ、動物たちと飼い主に寄り添う動物病院。そんな姿を目指します。

●創業に際し活用した秋田県の制度等

あきた起業支援事業費補助金（若者起業家応援枠）
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/88411>



●創業事例

CASE_03

横手市のホップを未来につなげる 横手市初となるクラフトビール 醸造所開設への挑戦

留学先で知った地ビールの魅力
クラフトビールの力で生まれ育った横手市の
未来の担い手となりたい

横手市で生まれ育ち、県外の大学へ進学しました。語学留学したドイツでビール製造に強い興味を抱き、東京都内のクラフトビール醸造所で4年間ビール製造を学びました。横手市を代表する農作物のひとつであるホップは、フレッシュかつ香り豊かで、品質が高く評価されています。横手市産のホップの価値を全国に届け、横手市の未来の担い手となるべく、横手市初となるクラフトビール醸造所の開設に挑みました。



スナオブルワリー (株式会社うるかしこと)

横手市

屋号:スナオブルワリー
(株式会社うるかしこと)
氏名:津川 濂奈於(ツカワ スナオ)
所在地:横手市
創業年月:令和6年2月
業種:ビール製造業、飲食業
U R L: <https://sunaobrewery.com/>



創業時に苦労したこと、工夫したこと

醸造設備取得の難航と資金面の苦労

最高のビールづくりのため、こだわりの醸造設備の発注や輸入手続きをできる限り自分で行いました。輸入申請では書類提出につまずき、何度も提出をやり直しました。更に、円安が進んだことで為替差による支出増加も重なって、資金面で頭を悩ませる日々が続きました。それでも、応援してくれる方々の協力もあって、何とか設備導入を終えて営業許可を取得し、無事に醸造所を開設することができました。

技術・ビジネスモデル・セールスポイント

お客様に愛されるクラフトビールを目指して

当醸造所では300Lの発酵タンク4基で様々なクラフトビールを製造しています。製造の際には副原料として横手市産のリンゴを用い、クラフトビールを味わったことのない人にも受け入れられやすいビールづくりを目指しています。また、醸造所には自社ビールを提供するタップルーム（自社で製造したクラフトビールを提供する場所）を併設しており、訪れたお客様に気軽にビールを味わっていただけます。

今後について

「スナオブルワリー」に込めた想い

横手市を日本一のホップの産地として日本全国に広めたい

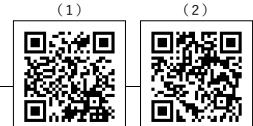
自然にやさしく、人にやさしく、素直に釀すことから「すなお」なクラフトビールが醸造できるとして、醸造所名を「スナオブルワリー」としました。これは本名「渚奈於(すなお)」にも由来します。まだまだ知名度は低いですが、当ブルワリーを日本全国に広めるとともに、横手市を素晴らしいホップの産地として広めていけるよう、地元生産者の皆さまの想いを乗せたビールづくりに取り組みます。

●創業に際し活用した秋田県の制度等

日本政策金融公庫のビジネスマッチング支援

(1) インターネットビジネスマッチング <https://www.jfc.go.jp/n/match/index.html>

(2) 商談会 <https://www.jfc.go.jp/n/match/matching5.html>



●創業事例

CASE_04

県内初・フリーランスでの ウェディングプランナーの起業 式場では実現できない 特別なウェディングを！

私ができる事 × 地元秋田に必要とされる事 ウェディングプランナーとしてAターン※起業

(※Aターン：秋田県へのU-Iターンの総称)

大卒後、一年間ワーキングホリデーでオーストラリアのウェディングカンパニーで働き、解放感あふれる海外ウェディングの文化と出会えた事がウェディングプランナーとしての始まりです。帰国後は秋田県外でホテル専属プランナーやブライダル専門学校講師などに10年以上従事しました。経験やスキルに自信を持つつあった当時、「地元秋田に帰らない事を、将来後悔してしまうかも」と思い、Aターン希望者向け情報サイトを通じて地域おこし協力隊に応募しました。イベントプランナーとして任期3年間で34回の若者交流イベントを企画し、人脈と地域資源への理解を深めました。地域おこし協力隊退任のタイミングで「私ができる事×秋田で必要とされる事」を考えた結果、ウェディングプランナーとしての起業一択でした。



spell wedding

由利本荘市

屋号: Spell wedding
氏名: 遠藤 千賀子 (エンドウ チカコ)
所在地: 由利本荘市
創業年月: 令和7年1月
業種: ウェディングプランナー
Instagram: spell_wedding



創業時に苦労したこと、工夫したこと

ゼロからのウェディングイベント準備 大変さも楽しさや感動に変えていく

式場に属ないので、ウェディングイベントのアイテム調達は自分で行います。打ち合わせで新郎新婦二人がウェディングに至るまでのストーリーを入念にヒアリングし、二人のベストマッチなウェディングを実現すべく装飾や家具小物などを準備しますが、まだまだ秋田の情報に疎く、アイテム探しに奔走しています。でも「大変！つらい！」と思うことはありません。これまでの修業時間が糧となっていますし、ウェディングの仕事が大好きです。新郎新婦のウェディングに対する想いに感動し、お二人や家族が喜ぶ姿を想像しながら、寝食を忘れるほど仕事に没頭しています！

技術・ビジネスモデル・セールスポイント

県内唯一のウェディングプランナー 地域資源活用した特別なウェディングを提供

秋田県内初のフリーランスのウェディングプランナーとして、既存の式場では実現できない特別なウェディングを提供します。今年5月には、県内のハーブ園を活用したガーデンウェディングを行いました。新郎新婦はもちろん、ハーブ園の事業者の方も「私たちのハーブ園が式場として活用できるなんて！」と喜んでいただけました。秋田県内には式場として活用できる地域資源がまだ沢山あります。そんな秋田県に眠る素敵な場所・モノ・ヒトと、新郎新婦をマッチングしていく事が私の仕事です。これはA-Iでは代替できません。現在は県内ワイナリーを活用したウェディングを企画しています。絶対素晴らしいウェディングになると思います。

今後について

「秋田ウェディング」を沢山の方々に届けたい

起業してから今まで、仕事の依頼は主にクチコミでいただいている。しかしひとりでの稼働のため、月2回のウェディングプロデュースが限界です。それ以上になると新郎新婦と向き合う時間が削られ、企画の質が低下する恐れがあります。将来的には同志として従業員を雇用し、お客様の幸せな機会を逃さないようにしたいです。私のプロデュースする「秋田ウェディング」が、秋田県外に転出してしまった秋田県出身者の耳に届き、「秋田でウェディングをしたい！」と思っていただけたら感激です。

●創業に際し活用した秋田県の制度等

由利本荘市起業者融資利子補給金

<https://www.city.yurihonjo.lg.jp/1001504/1002135/1007945.html>



●創業事例

CASE_05

家族の悩みが原点。 地域とともに歩む移動スーパー

身近な家族の変化が原点に

創業のきっかけは身近な家族の変化でした。実母が足を悪くし、これまでのように近所のスーパーへ買い物に行くことが難しくなりました。ちょっとした買い物ですら、人の手を借りないといけない母親の姿を見て不安を感じるようになりました。さらに周囲の知人たちも同じような不安を抱えていることが分かりました。「一人で買い物に行けない」「配達を頼むにはハードルが高い」これらの声が重なり、やがて「自分が動けば、この状況を変えられるかもしれない」という想いに繋がりました。こうして、地域の高齢者が安心して買い物ができる環境を作るべく、「移動スーパー」という新たな一步を踏み出すことを決意しました。



とくしま マルダイ4号車

秋田市

屋 号：とくしま マルダイ4号車
氏 名：佐藤 恵理（サトウ エリ）
所 在 地：秋田市
創業年月：令和6年10月
業 種：移動販売
instagram : tokushimarudai4_erimaru



創業時に苦労したこと、工夫したこと

デジタルの限界を実感 地道なアナログ営業への回帰

高齢者の多くは、スマートフォンなどのデジタルツールは利用しておらず、SNSなどの情報発信は思ったような効果が生まれませんでした。そこで、原点に立ち返り、地道なアナログ営業を重ねることを選びました。市内の住宅地や団地を一軒ずつ訪問し、チラシのポスティングや玄関先での声掛けをしてサービスの説明を案内しました。また、自治会や老人会の集まりなどに足を運んで、少しずつ顔と名前を覚えてもらう努力を続けました。

技術・ビジネスモデル・セールスポイント

地域に根づき始めた「移動スーパー」

創業からしばらく経過し、「移動スーパー」は地域に少しづつ根づき始め、常連客も増えました。特に最近は、口コミや紹介による新規のお客様が増加しているのが大きな変化です。「隣のおばあちゃんに教えてもらって」「町内会の人が勧めてくれた」など、利用者同士の繋がりの中で自然と広まり、当初想定していた以上の反響が出ています。また、「ちょっとしたおしゃべりがうれしい」「体調のことを気にかけてくれるのがありがたい」といった声も多く、地域の小さな見守り拠点としての役割も果たしつつあります。

今後について

巡回エリアの拡大とサービスの多様化へ

経営が安定しつつあるので、さらに多くの地域へサービスを届けたいと考えています。ルート拡大を視野に入れ、車両の追加導入やスタッフの雇用も検討中です。また、「買い物」だけでなく「日常の中の安心感」を届ける存在としての進化を目指します。見守り的な声掛けや、簡単な生活相談、地域の医療・福祉機関との連携など、移動販売車を「地域の動く窓口」にする構想もあります。この商売は、単にモノを売るだけではなく「人と人を繋ぐこと」が本質だと思っています。高齢になっても、住み慣れた場所で安心して暮らし続けられる地域づくりに、少しでも貢献していきたいと考えています。

●創業に際し活用した秋田県の制度等

あきた起業支援事業費補助金（地域課題解決枠）
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/88412>



●創業事例

CASE_06

開業の夢が現（うつつ）となった！

諦めなかつた開業の夢と地域で愛されてきた

洋菓子店が繋がつた Aターン × 繼ぐスタ※

(※Aターン：秋田県へのU・Iターンの総称、継ぐスタ：継いでスタートする意味の公庫の造語)

秋田県秋田市出身。飲食店や菓子店等に勤務する傍ら、専門学校にて製菓を学びました。石川県能登町に移住して旅館に調理師として勤務し、フルーツカット等の技術を磨き、その後、開業準備を進めていた矢先に能登半島地震で被災しました。震災後の豪雨災害もあって能登町での起業を断念し、地元秋田市に戻り開業準備を進めていたところ、地域で愛されてきた洋菓子店がお店を閉めるという話を聞きました。「地域の焼き菓子文化を私が繋ぎます！」という気持ちを前オーナーさんに伝えたところ意気投合し、お店を引き継いで開業できることになりました。看板や商品は換えましたが、店舗内装や設備はそのまま譲っていただきました。初期投資を大幅に削減できただけでなく、地域のお客さまにとって「変わらず身近な洋菓子店」という存在でいられるなど、メリットが多かったです。今後、前オーナーさんから秘伝のレシピを教えていただき、地域に愛された味の継承もしていきたいです。



うつつ菓子店

秋田市

屋号：うつつ菓子店
氏名：尾形 真美（オガタ マナミ）
所在地：秋田市
創業年月：令和7年7月
業種：菓子小売業
Instagram：utsutsukashiten2025



創業時に苦労したこと、工夫したこと

たくさんの方から支えてもらうことが大切

経営者の友人に資金調達について相談したところ、日本政策金融公庫を勧められました。公庫さんは融資後も「経営に役立つ情報提供」をしていただいています。私がお薦めするのは公庫秋田支店で毎月開催している「よろず相談会」です。秋田県よろず支援拠点のコーディネーターさんにインスタの活用を相談したところ、具体的な方法を教えていただき、フォロワー数が急増しました。インスタではお店のことだけでなく、お客さまにも伝えたい「日常」もアップしています。インスタを見て来店する県外のお客さまも増えました。多くのお客さまから「インスタ見たよ、頑張ってね」と声をかけられます。お客さまとの距離が近くなっています、ついでに会話が弾んでいます。

技術・ビジネスモデル・セールスポイント

お客さまの笑顔がうれしい

商品は焼き菓子の他、プリンやゼリーなどもラインナップしています。四季の移ろいに合わせて果物、素材を変えています。季節を楽しめるのも洋菓子の醍醐味だと思います。商品の種類を日々替えながら常時20種類以上は並べています。お客さまが「わあ！どれにしようかな～♪」と楽しそうに悩んでいる様子を見るのがとてもうれしいです。選んでもらえる楽しさが大切ですね。

今後について

末永く地域で愛されるお店であり続けたい

「秋田市の檜山といえば、うつつ菓子店だよね」と言ってもらえるお店になりたいです。そのためにも、これからも末永く地域で愛されるお店であり続けたいです。秋田市には長く愛されてきているお店が多いので、そのような先輩たちを見習っていきたいです。たくさんのお菓子をお店に並べ続けられるよう、現（うつつ）を抜かさず地道に頑張ります！

●創業に際し活用した秋田県の制度等

よろず相談会

<https://akita-yorozu.go.jp/satellite/>



●創業事例

CASE_07

十和田湖で遊覧湖上カフェとワカサギ釣り

観光ボランティアを通して知った
十和田湖の魅力を発信したい

陸上自衛隊青森駐屯地に勤務していた時、パワーボート（船でゴムボートを曳く水上アクティビティ）のガイドボランティアをしていました。ガイドボランティア6年間を通して、十和田湖がとても綺麗な場所で、ガイドをするたびに観光客が笑って、「楽しかった。ありがとう、また来ます。」と言ってくれたことに心が動かされました。また、十和田湖ではワカサギを大量に繁殖し、他の湖に稚魚を送り出しているにもかかわらず、ワカサギを活かした事業がないことを知りました。そして、観光面では冬の期間は観光客が少なくなる地域課題があります。十和田湖は凍らない湖のため、ドーム船であれば、大きいサイズで有名な十和田湖のワカサギを寒さに凍えることなく、気軽に釣ることができます。また、ドーム船は観光船としても、湖面と距離が近く、十和田湖の魅力を存分に味わえます。十和田湖の魅力の発信と地域課題解決のため、ドーム船による遊覧湖上カフェとワカサギ釣り事業の創業を決意しました。



Enjoyとわだこ (エンジョイトワダコ)

鹿角郡小坂町

屋号：Enjoyとわだこ（エンジョイトワダコ）
氏名：山崎 拓治（ヤマザキ タクジ）
所在地：鹿角郡小坂町
創業年月：令和7年4月
業種：遊漁船業
URL：<https://enjoy-towadako.jp/>



創業時に苦労したこと、工夫したこと

逆境にめげず、事業計画再考

創業を決意してから大きく二つのことで事業計画を再考する必要が生じました。一つ目は資金計画です。当初は、中古船を購入する計画でしたが、購入予定先から中古船を売却できないとの連絡があり、計画変更を余儀なくされました。二つ目は船の定員数の変更です。中古船を購入する場合は既に検査が完了しているので、そのまま利用できますが、新船の場合は新たに検査が必要となります。北海道で起きた遊覧船事故以来、定員数13名以上の船では検査が厳しくなり、費用が掛かるため定員を22名から12名に変更しなければならなくなりました。新船購入による予期せぬ計画変更がありましたら、新船になることで耐久性が向上すること、運航時間短縮と運航回数増加で対応できることから創業を進めました。

技術・ビジネスモデル・セールスポイント

創業はゴールではなく、スタート

創業を準備してから2年、絶縁曲折がありながらも春夏の遊覧湖上カフェ運航にこぎつけることができました。まだまだ軌道に乗ったといえるまでの売上ではありませんが、創業できたことは、十和田湖の魅力を十分に伝え、地域の課題を解決したいという創業動機の第一歩を踏み出すことができたと考えています。今後は事業を軌道に乗せるために創業時に相談した商工会や金融機関と相談しながら、十和田湖での遊覧湖上カフェとワカサギ釣り事業の認知度を高め、秋から始まるワカサギ釣り運航に向けて動きます。十和田湖のワカサギは他の湖より身が甘くて美味しい、何より大きいことで有名で「デカサギ」と言われています。十和田湖で初のワカサギ釣り運航の需要は高く、新しいウインターアクティビティとして定着し、冬の集客力が弱い十和田湖での集客起爆剤になると思います。

今後について

秋田十和田湖の魅力を全国・世界に発信！

十和田湖は、環境省を主体とした国の国立公園での滞在体験の魅力を高める「先端モデル地域」の一つに選ばれており、国立公園ならではの感動体験を提供するための取り組みが行われます。ドーム船による遊覧湖上カフェとワカサギ釣り事業は、秋田十和田湖の近隣宿泊施設に自然体験アクティビティを提供し、釣ったワカサギを宿泊施設で天ぷらにして食べることができるサービスやワカサギ釣りの宿泊プランで連携することができます。秋田十和田湖での他事業者と連携し、感動体験を提供することで「十和田湖に来てよかった。楽しかった。もう一度来たい。」という人を増やし、秋田十和田湖の魅力を全国・世界に発信していきます。

●創業に際し活用した秋田県の制度等

かづの商工会による創業計画書等の策定支援
<https://kazuno-shokokai.org/>



日本公庫ダイレクトでは、お客様のお困りごとの解決に役立つサービスを提供しています。アプリから利用できるようになって、より便利になりました。

「日本公庫ダイレクトアプリ」が、創業をお考えのあなたをサポートいたします。

例えばこんな時に…

お役立ち情報



創業に関する事例や動画など、様々なコンテンツを随時配信中



日本公庫ダイレクト 公式キャラクター
コウノトリ

セミナー申込



事業計画書の作成から資金調達まで。幅広いセミナーを開催中

予約相談



忙しい方も、待ち時間なし。公庫の担当者とじっくりご相談

借入申込



いつでもどこでもお手続き可能。
事業計画書などもオンラインでご提出

取引状況照会



お取引状況をスマホでチェック。
各種証明書の発行もオンラインで

最短5分で
登録完了



ダウンロードはこちら



いつも、あなたのそばに。

「日本公庫ダイレクトアプリ」は、日本公庫がオンラインで提供するサービスをご利用いただけるアプリです。

iPhoneをご利用の方



Androidをご利用の方



「iPhone」「App Store」は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標または登録商標です。 「Android」「Google Play」は、Google LLC の商標または登録商標です。

ご不明な点は、事業資金相談ダイヤルまで
お問い合わせください。

事業資金
相談ダイヤル

0120-154-505

行こうよ！ 公 庫

※受付時間は、平日 9:00~19:00 となります（国民生活事業）。

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください。

①ご相談・お申込

- 融資制度、お申込手続き等のお問い合わせはお電話にて承っております。
- 支店窓口でのご相談は、事前にご予約をお願いしております。
(オンラインでのご相談も承っております。)
- お申込はインターネット申込をご利用ください（必要書類は次ページご参照）。

②ご面談

- 資金のお使いみちや事業の状況（計画）などについてお話を伺います。
- ご準備いただく書類は、営業状況（計画）や資産・負債の分かる書類などです。
- 店舗や工場をお訪ねすることができます。
- オンラインでのご面談も承っております。

③ご融資

- ご融資の決定後、ご契約に必要な手続きをご案内いたします。
- ご契約手続きについては、日本公庫電子契約サービス（国民生活事業）をご利用ください。
- ご契約手続きの完了後、ご融資金を銀行等の金融機関の口座へ送金いたします。

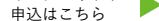
お申込の際は、次表に掲げる書類の電子データ等をご提出いただきます。

個人営業の方	<input type="checkbox"/> 最近2期分の申告決算書
法人営業の方	<input type="checkbox"/> 最近2期分の確定申告書・決算書 (勘定科目明細書を含みます。) <input type="checkbox"/> 最近の試算表 (決算後6ヶ月以上経過している場合または事業を始めたばかりで決算を終えていない方)
設備資金をお申込の方	<input type="checkbox"/> 見積書
はじめて利用される方	<input type="checkbox"/> 創業計画書 (新たに事業を始める方または事業を開始して間もない方) <input type="checkbox"/> 企業概要書 (創業計画書をご提出いただいた場合、企業概要書の提出は不要です。) <input type="checkbox"/> 法人の履歴事項全部証明書または登記簿謄本 (法人営業の方) <input type="checkbox"/> お客様（法人の場合または代表者の方）の運転免許証（両面） またはマイナンバーカード（表面のみ）またはパスポート (顔写真のページおよび現住所等の記載があるページ) <input type="checkbox"/> 許認可証 (飲食店などの認可・届出等が必要な事業を営んでいる方) <input type="checkbox"/> 日本公庫電子契約サービス（国民生活事業）利用申込書 (電子契約サービスをはじめてご利用になる方) <input type="checkbox"/> 送金先口座の預金通帳の写し（表紙、見開き1ページ目） (電子契約サービスをはじめてご利用になる方)

※ インターネット申込はウェブページからご利用いただけます。

※ 企業概要書、創業計画書などの各種書式はウェブページからダウンロードできます。

インターネット
申込はこちら



各種書式の
ダウンロード
はこちら



in Akita



起業 創業 移住 サイト



日本政策金融公庫

秋田支店 大館支店

秋田
支店

国民生活事業 0570-005597(ナビダイヤル)
農林水産事業 018-833-8247
中小企業事業 018-832-5511

大館
支店

国民生活事業 0570-005626(ナビダイヤル)

詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.jfc.go.jp/>
日本公庫 検索

